



絆づくり通信

2018. 9. 25

NO. 65

若樫サポーター「居場所づくり活動」報告

冬野菜の種まきと救急法

9月9日（日）、南勢少年サポートセンター主催で、松阪市内での居場所づくり活動「冬野菜の種まきと救急法を学ぶ」が行われました。前日の雨の影響で種まきはできませんでしたが、参加した若樫サポーター（少年警察学生ボランティア）4名は、子供達とふれ合いながら除草作業を行いました。

午後からは松阪地区広域消防組合の方を講師に招き、AEDを用いた救急法の講習を受けました。

活動を終えた若樫サポーターは、「初めて参加したので馴染めるか心配だったけど、みんなと馴染めてよかった。」「子供達と接することに少し抵抗があったけど、子供達や色々な人とコミュニケーションがとれてよかった。」「少し疲れたけど楽しかった。10月の収穫が楽しみ。」「AEDを使った救急法も学べてよい経験になった。」と充実した様子で活動を振り返りました。

「居場所づくり活動」とは、少年の立ち直り支援のために行う「料理」「農業」「スポーツ」などの体験や「学習支援」等の活動のことです。



バドミントン交流会

9月17日(月)、津市内で数多く参加した若樫サポーターと子供達がペアを組んで、バドミントンを通じて交流を図りました。お互いにコミュニケーションをとり、会話もはずみ、楽しいひとときを過ごしました。

若樫サポーターは、「ペアの子と話しながら一緒に楽しくできてよかった。」「スポーツはコミュニケーションをとる上でとても大切なものだと改めて感じた。」「疲れたけどとても楽しかった。また、日が合えば参加したい。」「初めての参加で少し緊張したけど、とても貴重な体験ができてよかった。」と清々しい表情で活動を振り返りました。



三重県警察